

第17回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

第17回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議
議事録

日時：平成26年 3月 4日（火） 15：00 ～ 16：30

場所：大宮ソニックシティ ソニックシティビル8F 808会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟 理事
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
事業者		本間 淳史	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		真田 晃宏	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>すけれども、何か気がつかれた点や御質問の点がございましたら、お願い致します。2月27日頃のデータが今回初めてということですか。[REDACTED]</p> <p>・前回に御説明申し上げたときには2月20日までのデータでございましたけれども、それ以降調査を追加して本日の資料とさせていただきます。(事務局 山田)</p> <p>・1つ質問です。調査地Lに来た雄は、一番最初は4年前ぐらいからLあるいはFに来ていると思われませんが、個体識別はできていますでしょうか。[REDACTED]</p> <p>・昨年調査地Fで確認された個体の特徴と、今回Lに飛来した個体の特徴を比較しますと、眉斑と後頭白斑の状況が異なって見えます。今回Fに来巣したのは一回のみで、撮れている画像も限られているのですが、眉斑と後頭白斑の特徴が異なるのではないかと考えており、違う個体の可能性があると考えております。((株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・わかりました。違うのにLの方へ現れているというのは、よほどLの場所がオオタカにいい所なのではないかとも思われるので、事業をしている最中は多分来ないだろうけれども、終わったら次の年に来れるぐらいの準備はしておく必要があるのかなと思われま。[REDACTED]</p> <p>・ほかにはいかがでしょうか。 直接オオタカの情報は違いますけれども、今回、2週間続けて雪が降りまして、森の荒れ方はいかがですか。[REDACTED]</p> <p>・現地調査を担当させて頂いております埼玉県生態系保護協会の湯川です。雪による影響は、今のところは確認されておりません。全調査地の中で唯一あったかなと思いますが、去年秋にB地区の巣が台風で崩れて、一部引っかかっていたのですけれども、そちらで雪の後に崩落が一層進行したというところは確認できております。</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>それ以外につきましては大きな雪の影響はなかったものと考えております。((公財) 埼玉県生態系保護協会 湯川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地で常緑広葉樹が大分折れたり倒れたりしていましたが、それが営巣木にとか、そういうことは無かったですか。■■■■ ・無かったです。営巣木の周りでは大きな影響はありませんでした。((公財) 埼玉県生態系保護協会 湯川) ・ありがとうございます。■■■■ ・もう一つお願いで、6ページの出現状況ですが、これはそれぞれの地域に出現した全個体のもので描いてあるけれども、ここで繁殖をするかしないかと言うことを考えるときに、繁殖年齢に達しているものだけにしたものを、作っておいてくださると、もっとわかりいいのではないかと思います。■■■■ ・成鳥だけをクローズアップするということですね。■■■■ ・成鳥だけで、雄・雌区別をつけて作成してもらってもっといいと思います。■■■■ ・ある程度は可能ですか。今お手持ちの情報の再整理ですけれども。■■■■ ・今回、成鳥の雄・雌は赤と青で色分けさせて頂いておりますので、繁殖年齢に確実に達したものだけという事であれば、成鳥雄・雌の飛翔図を抜き出すのは可能だと考えております。ただし、幼鳥の雌が1年目で営巣に参加したりしますので、そちらの取り扱いについてはまた御相談させて頂きたいと思っております。((株) 建設技術研究所 川崎) ・次回にその辺の情報を出して頂ければありがたいです。■■■■

第17回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(1) 平成26年繁殖期初期の調査結果</p> <p>(2) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・了解です。(株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・他にはいかがでしょうか。よろしいですか。■■■■■</p> <p>・それでは、御説明の内容はよくわかったということで、議事の2番目の「調査地Lの保全対策」について、資料②ですが、御説明をお願い致します。■■■■■</p> <p>・「会議資料②調査地Lの保全対策」の説明(事務局 宮下)</p> <p>・補足でよろしいでしょうか。</p> <p>お手元、机の上に置かせて頂いていますA3横の、右上にタイトルがありますが、第13回対策会議、平成25年3月19日という2枚ペーパーがあると思えますけれども、これは、昨年度の同時期、3月19日に行ったときの昨年の状況をまとめたものでございますので、今年と比較して頂ければと思っています。ただ、違うのが、昨年は3月15日までのデータ、今日の資料は2月28日までの資料で、約2週間の差がありますので、そこも踏まえて御議論頂ければと思っています。よろしくお願ひします。(事務局 山田)</p> <p>・ありがとうございます。いかがでしょうか。今の保全対策について、基本的な考え方は昨年度を踏まえたということで御提案して頂いています。</p> <p>昨年の資料と比較すると、パターンとしてFは同じような動きということですね。昨年で言うと、2月中旬、下旬が成鳥の動きという記録がピークになっていて、今年は2月上旬、中旬がピークで、一旦確認数が減っている部分ですけれども、これは、そこで繁殖する個体以外のものがある程度来なくなったと読み取れるのですかね。■■■■■、いかがですか。■■■■■</p> <p>・そこまで言えるかどうか難しいのは、15日以降に天候がよくなかったので、普通なら動く時期に動かなかったかなという曖昧なところが入る。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・昨年を見ると、成鳥の場合ですけれども、2月下旬が10回で、3月上旬はいきなり1回、3回と、減りますよね。この辺のパターンを見ると。■■■■■</p> <p>・早めにそれが来たのか。■■■■■</p> <p>・不要なものたちが入ってきたのかと思いましたがけれども。いかがですか。御意見。基本的にはこういう考え方で進めてよろしいでしょうかということですから。■■■■■</p> <p>・先ほど■■■■■からも発言があったのですがけれども、FとLはどうも個体が違うような感じがします。</p> <p>もう一つは、飛翔図を見ると、今年の資料を見ると非常にFとLを頻繁に行っていたのですがけれども、それに比較すると、今回はかなり分かれるような感じに見えるのです。ということは、やはり別個体の可能性が非常に高くなってきているということ。</p> <p>それから、2月の天候とか色々なことを考えると、Lもまだこれから繁殖する可能性があるような気がするのですがけれども、そのあたりは調査している人の感覚としてはどうですか。■■■■■</p> <p>・今お話がありました出現回数の点からFとLを昨年との比較で見ますと、例えば、Fの方は、成鳥あるいは成鳥以外の1・2月の合計の出現回数が、昨年は84回で、今年は98回ということで、同じ調査条件の中で今年の方が増えており、出現回数から見ると繁殖するだろうことが伺えるかなと。</p> <p>問題のLの方ですけれども、同じように成鳥、成鳥以外の1・2月の出現回数を合計すると、昨年は23回だったので、今年は51回ということで、今年は去年に比べてかなり出現回数が多く、繁殖の関連行動自体はそれほど多くないのですが、出現回数の比較だけで言うと、今年は非常に多い。逆に言うと、今年の工事が影響していないということは言えるのかもしれないのですが、そんな感じが見てとれます。出現回数だけなので、Lで今年繁殖するかどうかということでは何とも言えないと思います。(公財)埼玉県生態系保護協会 須永)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 調査地Lの保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。調査をなさっている感触として、まだはっきりしないということですね。■■■■■ ・これからの調査が大事だということですね。ということは、次回の判断がまたかなり厳しくなる。■■■■■ ・繁殖してしまったらどうしようかと。■■■■■ ・その可能性は去年と比べても高いような気がするので、そのあたりは慎重に調査してもらいたいと思います。■■■■■ ・Lのほうは1回カメラに写っていて、Fの方にはまだどこにも写っていないということですね。■■■■■ ・はい。(事務局 山田) ・■■■■■は、何か御感想なりございますか。■■■■■ ・私もLの方で、2月6日に以前に使って落巢したところに雄がとまっていたという事と、Fと同個体ではないということをおっしゃっていましたので、ここは今工事が色々進行していて、あるいは周辺が騒がしい中で成鳥の雄が来て、以前使った巣にとまって、1分ぐらいしかいなかったようですけれども、すぐ飛び去ったということは非常に興味深く思います。今後この動きをもう少し注視したいと思っています。今年、まだこれから繁殖する可能性があるかどうかというところまでは考えにくいと思うのですが、依然としてここに関心を持っている成鳥がいるのだなということでございます。■■■■■ ・ありがとうございます。 ■■■■■はいかがですか。■■■■■ ・FとLは何か違う感じがしますね。どうなるか注視していきたいです。■■■■■

項目	主な意見と回答
<p>(2) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・それでは、6ページにあります3月以降の工事実施の判断、先ほども申しましたように、昨年の判断と同じ内容で進めるということで、この点に関してはよろしいでしょうか。■■■■■</p> <p>・今の状況ではしようがないですね。だから、次回また変わる可能性があるかということですね。それを前提に動く。■■■■■ ■■■■■</p> <p>・そうですね。 7ページ、8ページの工事の内容に関しては御疑問の点等ございますか。 前の方になりますけれども、料金所のところの遮蔽ネットは二重構造にされたということです。掘削区間の作業は地盤工の下の部分で機械が動くということで、周辺に機械の動きが曝露されることは少ないというお話でしたが、この辺はよろしいですか。特にはいかがでしょうか。 そうしましたら、今までの御説明の中で重要なポイントは、3月いっぱいしっかり見守って、様子を把握して、次回の判断材料として提供して頂くということをお願いしたいと思います。 それでは、他には。 この参考資料は1月～2月の飛翔データ等ですか。この辺で御質問はございますか。■■■■■</p> <p>・一番最初の資料①の3ページに、例えばBでしたら、巣が、B2' というのもありますけれども、B5まで動いているというのがあります。この次の会議の時までなんていうことは言いませんので、これは本線からの距離で仕分けされていますが、巣から巣への移動距離を、何年から次の年になったときに300m動いたとか、次のときに200m動いたというような資料を作ってくださいらないだろうかというお願いです。将来代替巣を架ける範囲がそれでかなりはっきり言えるようになるかと思しますので、埼玉県の例ということでできるようになるのではないかと思いますので、お願いしたいと思います。■■■■■</p> <p>・次回あたりは、時間的に難しいですか。■■■■■</p>

第17回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>(2) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・何とか提示できるように頑張りたいと思います。(事務局 山田)</p> <p>・強要は致しませんので、やれる範囲でお願いします。[REDACTED]</p> <p>・はい。ありがとうございます。(事務局 山田)</p> <p>・ほかには、御注文も含めてございますか。よろしいでしょうか。そうしたら、一応予定していた議事の内容は御説明を受けて意見を出したということで、これで終了致します。</p> <p>何かあれば、よろしいですか。</p> <p>そうしたら、進行をお返しますので、よろしくお願いします。[REDACTED]</p> <p>・ありがとうございました。</p> <p>調査地Lの施工時の配慮につきましては、引き続き繁殖期の調査を継続してまいりたいと思います。次回の会議におきまして、3月期までの調査地Lと調査地Fの繁殖兆候の確認結果を報告させて頂き、4月期以降の工事实施について御判断して頂きたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>また、繁殖状況の整理につきましては、前回会議で委員の皆様から頂いた御意見をもとに整理を進めているところでございます。</p> <p>次回は第18回になります。既に予定等をお願いしてございますが、3月27日の木曜日を予定しております。年度末で大変お忙しい中とは存じますけれども、ぜひ御出席をお願いしたいと思っております。(事務局 宮下)</p>
<p>閉 会</p>	<p>・以上をもちまして第17回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を終了させて頂きます。どうもありがとうございました。(事務局 宮下)</p>